

徹底討論

「学芸員養成課程における大学と博物館の連携方策を考える」

1 開催趣旨

2020 年の東京オリンピック・パラリンピック大会を前に、文部科学省「文化芸術立国中期プラン」を提唱しました。先の 2011 年 2 月に閣議決定した「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第 3 次基本方針）」では、「劇場、音楽堂、美術館、博物館等の文化施設や文化財に関わり、専門的な技能をもって支える人材について、研修機会等の支援策を充実する」ことが上げられています。

戦後、第一世代「保存」、第二世代「公開」、第三世代「参加・体験」、そして 21 世紀に入り、第四世代「対話と連携」と進んできた我が国の博物館。

2009 年の博物館法の一部改正で、2012 年度からスタートした新しい学芸員養成課程も 2015 年度は完成年度になります。

こうした状況を鑑み、今回は学芸員を育てる大学人、学芸員として働く博物館人等が会し、「学芸員養成課程における大学と博物館の連携方策を考える」をテーマに徹底討論したいと思います。特に「学内実習（60-90 時間）」と「館務実習（30-45 時間）」の連続性について、事例報告から検討していきます。

今回は、JMMA 近畿支部と九州支部の初めての合同研究会です。

会員はもちろん、多くの皆様の参加をお待ちしています。

2 開催日時

2015 年 5 月 30 日（土）11:00～17:00（昼食は各自ご持参ください）

3 会場

桃山学院大学梅田サテライト

（大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 8F）

4 内容

モデレーター（緒方泉：JMMA 九州支部長）

10:30 受付

11:00 趣旨説明（井上敏：JMMA 近畿支部長）

11:10 事例報告（1 人 15 分程度、8 事例程度）

井上敏（桃山学院大学）、瀧端真理子（追手門学院大学）、五月女賢司（吹田市博物館）、芦谷美奈子（滋賀県立琵琶湖博物館）、佐久間大輔（大阪市立自然史博物館）、高田浩二（海の中道海洋生態博物館）、山内利秋（九州保健福祉大学）、緒方泉（九州産業大学美術館）

13:10 休憩、昼食交流タイム（昼食を食べながら情報交換）

13:50 事例から論点整理（グループワーク）、各グループから発表

14:40 休憩

- 14:50 グループ毎に論点を決めて討論（グループワーク）、各グループから発表
15:50 休憩
16:00 全体討論「学芸員養成課程における大学と博物館の連携方策を考える」
17:00 閉会
17:30 情報交換会（近くに会場を移して、ざっくばらんに討論を続けましょう。予算 4000 円程度で考えています。）

5 主催

JMMA（日本ミュージアム・マネージメント学会）、JMMA 近畿支部、JMMA 九州支部

6 定員、申込方法、申込締切

定員は先着 30 名（締切は開催日 1 週間前、5 月 23 日）ですが、申し込みが定員になり次第締切ります。

申込は、以下を記入の上、JMMA 事務局までメール又は FAX をお願いします。

①名前②所属③紹介したい実践事例（100 字程度）情報交換会参加の有無

申込先：kanri@jmna-net.jp FAX03-3521-2932

7 会場地図

市営地下鉄御堂筋線梅田駅地下直結

JR 各線大阪駅地下直結

